



自然環境に配慮した処理センターをめざして

宮川流域下水道宮川処理区の宮川浄化センターでは、ミチゲーションの手法を取り入れ、従来からの地に生息していた生物を保全するための自然環境ゾーンを場内に配置するなど、生物の生態環境や自然環境に配慮した処理場として整備を行っています。

従来から生息していた生物の保護にあたり、浄化センター内に、トンボゾーン、オオヨシキリ(野鳥)ゾーン、カエルゾーン、メダカゾーンの自然環境ゾーンを配置しています。

種名 ダルマガエル

学名/ *Rana porosa brevipoda*
目科/ カエル目アカガエル科

三重県レッドデータブック：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

環境省レッドデータブック：絶滅危惧ⅠB類(EN)

体長5~6cmでやや丸みのある体形をし、背中黒い斑紋が円形か楕円形で独立していること、後肢が短いなどにより、近縁種のトノサマガエルと区別されます。

県内では伊勢平野の海に近い地域、答志島(鳥羽市)及び伊賀地域に分布しています。



種名 ヒヌマイトトンボ

学名/ *Mortonagrion Hirosei*
目科/ トンボ目イトトンボ科

三重県レッドデータブック：絶滅危惧ⅠB類(EN)

環境省レッドデータブック：絶滅危惧ⅠB類(EN)

小型のイトトンボで体長は3cmぐらい。海水と淡水が混ざった汽水の場所で、かつ、ヨシなどの植物がよく茂っているところにしかいません。

オスは、黄緑色と黒色。背中に黄緑色の4つの斑紋があり、メスは、明るいオレンジ色で頭に五面形の黒い斑点があります。



宮川浄化センター平面図

